教室で授業をしている中で「頑張って！」と声かけしても頑張れない子供が多いように思います。検定を受けてもどうせ合格しない、競技会に出てもどうせ入賞しない、こんな声も聞こえてきます。これらは、結果ばかりが追い求められている現代社会の悪しき風潮による副産物であるように思います。

山崎さんは、「未来のことはわからないが、自分の働きかけによって無限の可能性が広がる」ともおっしゃっていました。結果が保証されなくても、愚直に頑張っていくことの大切さ。現代の厳しい世の中を生き抜いていく上での大事な処方箋をいただいたような気がします。

【練習は本番のつもりで、本番は練習のつもりで】

よく聞く言葉で、私も様々な場面で何度となく教えられてきた言葉ですが、山崎さんの口から幾度となく発せられた言葉だけに重みが異なります。

スペースシャトルは打ち上げからたったの八分三十秒で宇宙に到達するそうです。この間になんと秒速八キロ（マッハ二十五）という猛スピードになるとのこと。このたったの八分三十秒という短い時間が、打ち上げ成功のための勝負の時間。本番を想定した厳しい練習、そして打ち上げ準備の成果が試される全ての時間とのことでした。

山崎さんは、「練習でできなくて本番でできることはない」ともおっしゃっていました。スペースシャトルでの飛行は命懸けです。それゆえ、山崎さんもこの言葉にはつくづく重みを感じられていらっしゃるのだと思います。

そろばんにおいては練習での点数が悪くても、検定試験で合格できてしまうことがあります。しかし、それはたまたま運が良かっただけだと思いますし、もしそれが実力だとしたら、普段の練習でもっと力を込めればさらにいい結果が望めたはずです。

私たちは普段の生活の中で命懸けで取り組む「本番」はなかなかありませんが、ふと防災訓練がそれにあたるような気がしました。そのときに備えて、教室においてもしっかりと準備をし、練習をしておく必要があると感じました。

もちろん、普段のそろばんの練習においても、子供たちとこの言葉の通りにしっかりと取り組んでいきたいと思います。

【何事も一歩一歩の積み重ね、続けているとやった！と思えるときが必ず来る】

そろばんをやっている子供たちに最後に一言ということで、山崎さんがおっしゃった言葉です。

幼少の頃からの体験のひとつひとつが自らの糧、失敗も含めて全てを自らのものにしてきたといいます。その一歩一歩の積み重ねが、宇宙へ行きたいという夢をはぐくみ、結果として宇宙飛行士として宇宙に飛び立つことができたということです。

山崎さんはこの言葉の後に「一人一人を励ましてあげてほしい、そろばん教室に子供たちの人格形成も含めて期待している」と続けられました。

私たちはそろばんを教えていますので、早くそろばんが上手になって欲しいと考えるのは当然です。

しかし、山崎さんがおっしゃるように、そろばんも子供たちの人生における大切な経験のひとつであるととらえ、たとえ検定に合格できなくても、なかなか上手にならなくても、子供たちのひとつひとつの努力を認め、また頑張れない子には努力することの大切さを教え、また、子供たちと一緒に喜んだり、惜しんだり、あるいは褒めたり、時には叱ったり、そんな経験を一緒になってひとつひとつ積み重ねていくことが、子供たちの人生にとって何よりも大切なことなのだと、山崎さんに教えられた気がします。

将来、子供たちから「そろばんをやっていたおかげだよ！」と言ってもらえるのが一番です。しかし、なかなかそうもいかないだろうと思います。人生で一番大切なものはそろばんではないからです。

何でもいいので、全ての子供たちがひとつの事を成し遂げ、やった！と思える日が来るのであれば最高です。

珠算教育を通じて子供たちの人生をアシストしていくことが、子供たちと接する時間が他のどの習いごとに比べてもはるかに多い、私たちそろばんの指導者の使命のひとつであるのではないかと、山崎さんの講演を聞いて強く感じることができました。明日からの授業にぜひ生かしていきたいと思います。

〈プレゼンテーション〉

『日本そろばん資料館』

プレゼンテーター　岡久泰大 氏

（そろばん資料館　準備委員会委員長）

このプレゼンテーションでは、今年の七月一日に全珠連東京事務局の一階にオープン予定の「日本そろばん資料館」の準備状況の説明と、完成予定の施設の紹介がされました。

エントランスから中に入ると、まずは巨大なそろばんをイメージした書架に出迎えられ、そこには古書から現代書にいたるまでのそろばんに関する書物が置かれる。そしてその奥には古そろばんの展示コーナー、さらには学習・体験スペースが設けられるということです。

ひとりひとりの珠算教育への志を形にしたひとつが日本そろばん資料館とのこと。全珠連の会員メリットのひとつとして是非活用したい施設だと感じることができました。

〈実践発表〉

『暗算の初歩指導』

三重県　谷本和代 先生

モットーが「楽しく元気に前向きに」